1■■1

各部名称……… ………………………………………………………… … 1～2

セコニツク2!型について………………………………………………………… 3

高・低二段の使いわけ

セコニツク21型の扱い方……………………………………………………………4

フィルムの感光度をます最初にセットする・……………………………… 4

Low(低)で惧1定の場合………………………………………………………5

H igh(高)で潰1定の場合………………………………………………………6

ディレクト・リーディング……………………………………………………7

ポラロイドナンバー・―・….….… ・………… … …・… …・…… ・… …・9

カラーl■x影について…………・ 10

21型を反射光線式として使用する場合……………………………………………11

反射光線式露出メーターは被写体のそばまで

i丘寄って測らなければならない。人物・ポー
トレートの場合…………………………………………………………………11

反射光線式露出メーターはただ近寄って測っ

ただけでもいけをい。それは平均を求めねば
ならぬ……………………………………………………………………………12
Fnt景やスナップなどどうしても被

'テ

体のそば

まで近寄れをいとき……………………………………………………………・13

a風景のとき………………………………………………・・………………13

b.スナップのとき………………………………………………:・ ………… 14

人物を雪景色や直夏の海岸など、極めて明る

Vヽ光線のもとでlllK影するとき、露出メーター
のオ旨示どおりでは露出がИく足します……・……・……・…… ……・……・ 15

逆光の場合の測り方………………………………………………………

a被写体をシルエントにする時

b逆光下で被写体全体を描写したいとき

C.逆光下で被写体もバンクも描写したいとき
非常に暗い場所での測り方……………………………………………………17

復写の場合の露出の求め方……………………………………………………18

接写の場合の露出の求め方………………………:.… ………………………19

シネ撮影の場合の露出の求め方………………………………………………20

フィルターを使用して撮影する時………:… ………………………………21

標準反射板について……………………………………………………………22

反射光線式露出メーターに適した被写体……………………:・ ……………23

SUA層川FrFR

セコニッタ2,型を入射光線式として使用するとき………………………………・24

入射光線式露出メーターは、被写体からの反

射光線が照射光の18%であると言う考えのも

とから出発している

入射光線式として使用する場合、原則として

その受光面(入射アタッチメント)を被写体の

位置から正しくカメラの方に向けて棋1定しを
ければならない…………………………………………………………………25

カメラ位置の光線状態と、被写体位置の光線
状態の異るとき…………………………………………………………………26

入射光線式露出メーターは被写体の状況によ
って幾分補正しなければならない……………………………………………2'

ターに適した被写体.… ……………………………… 28

・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ・・・・ ・・・・・・・・ ・・29

い
´

〔・ ・・ ・ ・ .・ ・ ・・・・・ 30

意…………………………………………………………31

ASA換算表………………………………………………………………… ……32

鯉
年
二
「|,■
`ヽ
・
夕1彎
入
射アタンチメン彎
F17絞り目盛
②
シ
ャ
ッ
タ
ー
ス
ピ
ー
ド
ロ盛
③
シネ
用駒
数
日盛
④
ツ
マミ
⑤
光指
数(ラ
イトバリユー)矢
印
C)光
指
数(ラ
イトパリユー)日
盛
171 ASA矢
印 18)AsA窓
0 
フ
イ
ル
タ
ー
用 (2倍 )指
標
10 
ガ
イ
ド
ラ
イ
ン
①
低照度
用
直読
み
目盛
⑫
高照度
用
直読
み
目盛
⑩
指
針
⑭
ゼ
ロ調
整
ネ
ジ
⑮
入射
ア
タ
ツ
チ
メ
ント軍
付
ビス
⑩
受光部
① l吊り紙
軍
付環
⑬
低
照度
指
標 (赤 )
.9‐ FT「
指標(自 ) 2

セコニツク2!型について
式にも使用そ讐普「写射光線式に二川ゎ七
フィルムの感光度をまず最初
にセツトする
ます涸1定する前に黄方のお使いになるフィ
ルムの感光度をツマミを廻してASA窓 ▲印
:こ正しく合わせて下さい。 (▲ 印の右方にあ
る。と2の記号はフイルターを使用しての撮
影の場合に用いますフイルターを使用して
の項参照して下さい。)なお「 1じフィルムでも
太陽光の時と人工光の時とでは感光度は変っ
て参りますからフイルムに同Jlされている注
意書をよくご覧になつて下さい。
品:こふζ§2■、)1鰹誂3招視れ碗1二懸
｀
た,‰孤ポ:』傷傷:をします。
3i鞣勒乙贖:雌許蘇講癬野導よ嘲荀襲ふ。
入射アメンチ ′ ン
を外す
Elill

ダイヤルの合わせ方、Lovv i低 )で測定の場合
撃
ず
ダイヤルの合わせ方、日igh(高 )で測定の場合明るさに応して針が振れます・ ■‐ もし感)ヒ ,芝 A S A200のフィフレノ、を口[用し1
1.Owで燿1定して,1が 14111のガイドライ
ンH盛を指示した場合、ダィャルを静
かにィiまたは左に回わし赤指示票を針の
指示した14・ 11のガイドラインにもう.て
イ予きま―す。 |
求める露出は図のようにF2て澪o・ F
28で l・/F4で %とそれぞれ細合わされて
おります。このうちどれ力‐ つの‖t合わ
せを被
′
/」:体の状況にょってとってドさぃ。
ただしF56や F8以ドは絞りとシャッ
タニスビ
「
ドの糸]合わせは多少ズレてお
りますが、このような場合|ま喰い,生いめ‐ 生した%・ %・ リイ・1秒のシャッタ■ス
ピードに対する絞りの位置を読みとり、
カメラの方の絞りもこの位置にして撮,杉
します。しかし1図のような組合わせはF
56の %秒 ・F8の %秒 ・F16の %・ F22
の 1秒、またF32は 211/た読スでも占|
差つかえありません.
次にA S AloOのフィアレ′、をイ1用し、H
iJhで測定した場合、針が1・ 8を折示
したとします、この場合も前と司し要領
でこんどは白指示票を金1の指示したガ
イドラインロ盛にもつて行きますと、求
める露出はF8の物缶・F llの %・ F16の
ス・F22の 26とそれぞれl― 月ヽしています。
このうち被写体の状
'兄
によってと'オしな一
つの組合わせをとってドさい。
喰い違|ヽのJiした場合は11項と同様に
して読みとります。

テイレクトリーディング
セコニック21型は、―々ダイヤルをまわして計算
する必要のないディレクト・ リーディング(直読法)
をとつております。
その方法は、もし貴方が感光度ASA 10oのフィル
ムを使用する場合はカメラのシャッタースピードは
必ずЙ缶秒にセットしておいて下さい:メーターを●i
け、針の1ま示したガィドラインの夕文字がすく
｀
そのま
またも。不少のFイ直となります。
i;と i:]:]lilil瘍 |:il:Ii ら一々計算の必要がないわけです。)
読方を卜慮?存層1を芳′恭Fβ:f)長、r4`?♂:電 ?
11・ 16・ 2232を言売み、LOwの場芳合は_卜「支の0.7・ 1・ 14・ 2恵冤豊lgf:8月露テ帰Tを荏鳥携縛iま、カメラの
11曹〔i[III[]llil:歯 1驚 ]吉偽[‖
読負fえ ζtt「
夕~は裏面および上面から」司様に
ライトバリユT
シンクロコンパーシャッターliカメ
ラをお持ちの方は、このライトバリュ
ート」盛で露出を決定して下さい。
演1定方法は普通と同じで、ただ求め
られたライトバリューをカメラにセノ
トするだけです。
もし感光度ASA 10oのフィルムを使
サllして測定し、ライトバリュー日盛が
14を指示した時カメラのライトバリュ ‐11盛も14にセットして下さい。こう
りれば被写体の状況によってカメラの
1交をF8にすれば、シャッタースピユ
ドは自動的に,お秒となり、またF llに
ホ交りこめばシャッタースピードは自動
的にも5秒にセットされます。
反対にシャッタースピードの方を誂
1/1/にセントすれば絞は,上動してF16に
なります。また品秒に置きかえれば絞
は自動的にF5.6に開いて来ます。

■11
カ
ラ
ー
撮
影
に
つ
い
で
カ
ラ
ー111ち l夕に,「
出/―
ターliうくてli″11'1■ t,,・ |
で
す。
モ
ノ
ク
ロ
ー′、(|:|lll)フ
イ
ル
ノ、|●),る ‖ 度
の
ラ
十
チ
・ ― ド (寛`杏 11)は
あ )ま
す
が、カ
ラ
ー
ア
イ
'レ
ム11■
|しか
極
め
て
少く、従
つ
て
少
し′)露
出
の
れ14く
'■
か1),て
も
美
し
い
色
は|'J見 |11 lt iせ
ん。絶
司
の
迪
■i′ 1111り
' る
ことがZヽ要
て
す。し
か
し
こ
れ11人 ‖「。)ウ
ン 1は Lう
て
い||1来
得
る
こ
と
で
は
なく、や
はり不■I的
に11111メ
ー
ク
ー
を使
用
す
る
こ
と
て
す.
カ
ラ
ー
撮t杉
の
場
合
の
世1定
法
は
こ
れ
と11つ
て
特
別111)
ろ′)で
は
なく、た
だ
フ
イ
'し
ノヽの
感
光
度
を指,Lと
おり1三
ントす
る
だ
け
で、あ
と|まモ
ノ′ロ
ー
メ、1最
影
の1り
合
ヒ全
く同
して
す。し
か
し
ど
ち「,か
と
言′_は
人
力l lLlltiヽ |[‖ ‖
定
ヒ´た
方
が
よ
ろ
し
い
て 1。 (反
力1光
刊t式 〔‖1'こ
のり場合
は
標
準
反
射
枚
の併
用
を
お
すヽめ
し
ま
す。)
・ま
た
カ
ラ
ー
lJ晨
影
は
さ
二,に
美
し
い
色
を
'Tj現
す
る
た
め
に
“光
の
質"(色 i‖ 度)も |:し 〈ユ1定
し
な
け
れi14り iせ
t。こ
れ
に
は露
出
メ
ー
タ
ー
と
共
に
カ
ラ
ー
メ
ー
タ~(色
温l・ 計)を
併1月す
る
こ
と
が最
も
'1想
的
で
しIう =
(カ
ラ
ー
メ
ー
タ
ー
の
御
賞間
な
と'11つ
い
て1よ、Pr lに
お
は
が
き
を
クトJ:夕tド
さ
れ|よヽLi生
ヵ
タ
ロ
ク・・′., 7し
ット
類
をIS)■ りlIし
卜(す
ま
‐十.) 10
利
鰤
ポ
ラ
ロィドナ
ン
バ
ー
ボ
ラ
ロ
イドカ
メ
ラ
を
お持
ち
の
ノデは、こ
の
ポ
ラ
ロ
イドlヨ盛
で
露
出
を
決
定
して
卜さ
い.lE」
定
方
法
は普
通
と
同
じ
で、ホ
ラ
ロ
イド赤
日盛
の
数
イ直
を
カ
メ
ラ
に
セ
ットす
れ
ば
よ
い
わ
け
で
す。
１
１
１１
１
、
∬
＝
―‐
ξ■11ず
■事

反
射
光
線
式
露
出
メ
ー
タ
ー
は
被
写
体
の
そ
ば
ま
で
近
寄
つ
て
測
ら
な
け
れ
ば
な
ら
な
い
…
…
人
物
撮
影、ま
た
は
ポ
ートレ
ートの
場
合
前llも
中
し L(す
ま
し´た、Li,り、りて射
光
線
式とこ|う
の
は
被
写
体
か
ら
反
嚇1し
てltる
光
線
を‖1っ
て
露
出
を
決
ノ)る
メ
ー
タ
ー
で
す。し
か
し被
写
体
か
',1え
力」し
て
汁tる
光
線
を
'1る
と言
っ
て
も
カ
メ
ラ
の
位 [1か r,た
だ
洪
然と被
写
体
の
方
に
向
け
た
の
で|よ適i[露 IPIは
得「,れ
ま
せ
ん。
露
出
メ
ー
タ
ー
に
も
や |まリカ
メ
ラ
の
レ
ン
ズ
の
ようll包
括
角
度
が
あり、勿
論
被
写
体
の
反
射
光
線
も
入
っ
て
水
ま
す
が
そ
れ
以
外
の
光
線、例
え
ば
バ
ンク
の
光、屋
外
で
し
た
ら
■
の
光
線
路
面
の
照り返
し等
そ
の
包
括 fil l支
内
の
綜
合
さ
ltた ;べ
て
の
光
線
が
全
部
入
つ
て
た
て
し
まう力'ら
で
す。
で ,か 」,1え
力1光
線
式fF出
メ
ー
タ
ー
|まで
き
る
だ
け
被
写
体
い
を
ば
ま
で,■
寄 |、そ´)反
射
電線
の
み1,度 14it〈
泄」定
し
な
け
れ
ば
なりま
せ
え′.メ
ー
タ
ーと被7,体と″)‖「離 1l l 110セ
ン
チ
ズート′レカ|
'11で
す.た
だ
し
そ
のlilメ
ー
タ
ー
の
量′を
´バ
■,たりま
た
測
っ
たり|´ な
い
ように
'L意
し
て
番
適
ドさヽ
反
射
光
線
式
露
出
メ
ー
タ
ー
は
た
だ
近
寄
つ
て
測
つ
た
だ
け
で
も
い
け
な
い。そ
れ
は
平
均
し
た
値
を
求
め
な
け
れ
ば
な
ら
ぬ
…
…
…
さ
て
今
度
は
た
だ近
寄
っ
て
慣1っ
た
だ
け
て
も
い
け
な
い
の
で
す。も
し被
写
体 (人
物とし
ま
しょう)
が
白
い
上
衣
に
黒
の
ズ
ボ
ン
を
し
て
い
たとし
ま
す、
こ
の
場
合
メ
ー
タ
ー
を近
づ
け、白
い
部
分
を
測
っ
た
場
合と黒
い
部
分
ま
た
は
皮
膚
等
を
慣1つ
た
場
合
は
な
な
そ
れ
ぞ
れ
メ
ー
タ
ー
の
指
示
は
違
っ
て
い
ま
す。
な
ぜ
な
ら
み
な
反
射
率
が
違うか
ら
で
す。
で
す
か
ら
い
か
に近
寄
っ
て
も
白
い
上
衣
の
み
を
測
っ
た
の
で
は
白
の
部
分
の
適
正
露
出
で
あ
つて
他
の
皮
膚
や
黒
の
部
分
は
不
足
と
な
っ
て
し
ま
い
ま
す。ま
た
そ
の
反対
あ
場
合
も
同
じ
ような
こ
と
が
言
え
ま
しょ
う。て
は
一体
ど
こ
を
績1っ
た
ら
良
い
の
で
しょうか。
そ
れ
は
平
均
を
と
る
こ
こ
で
す。
厳
密
に
言
え
ば
被
写
体
の
各
部
を
惧1っ
て (頭
髪・
皮
膚・明
る
い部
分・暗
い部
分)そ
の
平
均
し
た
値
を
求
め
な
け
れ
ば
なりま
せ
ん。し
か
し普
通
被
写
体
の
最
明
部
と
最Hti部
を
減1っ
て
そ
の
中
間
の1首
を
と
れ
ば
よ
ろ
し
い
で
し
よう。ま
た
標準
反
射
板
を
使
用
す
.る
の
も
二
つ
の
方
法
で
す。 (標
準
反射
板
に
つ
い
て
'は
別
墳
で
ご説
明
中
し上
げ
ま
す。) 12

前の項で反射光粽式露出メ「 夕Tは被写体のでばまそ遠寄って11らケけオ||ドならな|｀ ξ‐ 中しましたがt風景やネナップなど9場合は|
どうしても近寄ることはHl未ませんからうぎ
のょうにして11って下さい。 |
a.風景のこき…… カメラの位置から直接被
写体、また|よ日的の中′|ヽ 1こメニターを向けま
すが、ただしこの場合空の光線が入 ')ぬようメーターを少し斜め下に向けて測ります,
しかしその風景が広く展開した風景であった
り、また遠くの山々を写すような場合は前の
ょうにして得られたメータニの指示どおりて
|まなく、そのイ直を=きりつめて載かなければなりません。
空気光の影響で被写体の暗部がl・Ilるくなり、
被写体コントラストが11くなぅか1)でもあり
ます。もしF22で
'名
秒とダイヤルが市1合わさ
オlましたら
'名
×%=2ちで「 22の九Ъ不ツとな
います。
13
風景やスナップなごごうして
も被写体のそばまで近寄れな
いときは ……・
参
スナップなど
のこき ……
lll頭などでいい
被写体がみつかり、
ヨシン/ とばか
り/― ター片手に
被写体 Hがけて飛
び出したのでは,1
角のチャンスも被
写体に感ずかれ、
みすみす)このがし
てしまいます。こ
んな場合もやはり
風景と同じ‖1り方
をして下さい。た
だし切りつめる必要はありま
せん。また代用測定として標
準反射板を使用すれば最 |,自
い結果が得 r)れます 14
″
〓
一
疱

人
物
を
雲
景
色
や
真
夏
の
海
岸
な
と、極
め
て
明
る
い
光
線
の
も
と
で
撮
影
す
る
と
き、露
出
メ
ー
タ
ー
の
オ旨示 rぉりで
は
露
出
が
不
足
し
ま
す
…1…
も
しス
ナ
ッ
プの
要領
で人物
を雪
景色
や
海岸
な
どの極
め
て
明
る
い光
線
の
も
と
で
撮
影
す
るとき
は、メ
ー
タ
ー
の
指
示
よ
リー‐段
低
い
日
盛
を
読
みとっ
て
下
さ
い。
こ
れ
は
被
写
体
をとり囲
ん
で
い
る
物
体
か
ら必
要
以
上
に
強
い
光
線
が
メ
ー
タ
ー
に
入
っ
て
来
る
の
を
補
正
す
る
た
め
で
す。 (こ
の
ような
場
所
は
極
め
て
舌L反
射
が
多
い。)
し
か
し被
写
体
に近
寄
っ
て
損1っ
た
場
合
や
標
準
反
射
板
を
使
用
し
た
場
合
は
こ
の
必
要
は
ありま
せ
ん_ 15
辱■
“
´
.
■■■■
|■.|‐ ・
卜I盪 :[:lilli°
は
不
足となり真
黒
な
シ
ル
エ
ントに
す
る
ことが
で
き
まう
‐。
a 
被
写体
を
シ
ル
エ
ット
に
す
る
こ
き
b.逆
光
下
で
被
写
体
を
描
写
す
る
こ
き
メ
ー
タ
ー
を
被
写
体
の
時
部
に
近
づ
け
て
洪1定
す
る
か、
ま
た
は
標
準
反
射I「Kを
被
写
体と同
じ
ような
光
線
状
態
に
し
て
測
定
し
ま
す。こ
の
際
バ
ンク
か
ら
の
光
を
少
し
で
も
メ
ー
タ
ー
に
入
ら
ぬ
よ
う注
意
し
て
下
さ
い。や
は
リメ
ー
タ
ー
の
指
示
ど
おり
で
撮
影
し
ま
す。
逆
光
の
場
合
の
測り方
11 lL(ア ,ち
た
こ
も
い
ろ
い
ろ
な
ツチ
t´ 方
か
あ
ると11
い
よ
す。そ′しに
よ
っ
て
ア
ー
タ
~
も
そ
イしそ
ア
イ:だい
ゎ
け
ね|まなり1
1i t.
逆
光
下
で
被
写
体
も
パ
ッ
ク
も
共
に
描
写
し
た
い
と
き
被
写
体
の
暗
部とバック
の
明
る
さ
を
浪1り、そ
の
中
間
の
値
を
求
め
て
そ
の
指
示
で
撮
影
し
て
下
さ
い。

非常に暗い場所での測り方 ……
反射光線式の低輝度、また人射光線式の
低照度で江1ってもなお,|の llltれないような
非常に暗い場所では、被写体の17陛から/1
接光源にその受光面を向けて世1って下さい
もし光源が二つも二つもあるような場合は
i[:〔君f:伽輔i鰭:
ti曇富i『籠町tFi解,斃8菅分なら,1身を量ifilittFヽ ||‐ ||
17
復写の場合●露出み求め方……

絞り値×レンズこフイルムの距離
レンズ表示焦点距離
」 ←
叢 p
レンズ表示焦点距舗
レンズとフィルムのiE離
シネ撮影の時の露出の求め方 …
反射光線式で慣1つても、また入
射光線式で測ってもどちらでもよ
く、■1定方法もダイヤルの合わせ
方も普通の場合と全く同じです。
ただしンネカメラのシャッタース
ピードは、普通のカメラと違って
1秒間に廻転:よ度が 8・ 16・ 24・
32・ 64と言う駒数になっておりま
すから (図 ″1照のこと)貴方が使
用する5・J数 ::組合わされている「
値で露出して下さい。ダイヤルの
組合わせのズレている場合は前に
ご説明中し上げたとおりにし´て読
みと|)ます。

フィル
タ
ー
を
使
用
し
て
撮
影
す
る
こ
き
―
フィル
タ
ー
を
使
用
し
て
撮
影
す
る
場
合、フィル
タ
ー
に
指
定
して
あ
る
露
出
倍l_tだ
け
露
出
を
多くか
けra
ば
なりま
せ
ん。 (Flし Yl・
あ
る
い
はY2で
も
各
メ
ー
カ
ーーに
より倍
数
値
は
違
い
ま
す
か
ら
ご注意ドさ
い。)
も
し
感
光
度 A S A50の
フィル
ムと倍
数
値 21Tの
フィル
タ
ー
を
用
い
て
撮
影
す
るとし
ま
す。こ
の
場
合
ASA窓
に
あ
る2言
己号
をASA 50に
不多動
す
る
だ
け
で
露
出
は
百
動
的
に 2倍
の1に
に
組
合
わ
さ
れ
ま
す。ま
た 1.5倍
の
フィル
タ
ー
を
用
い
た
場
合
は・記
号 (△
印と2の
中
間
に
あ
坤)を ASA 50に
移
動
す
れ
ば
露
出
は
自
動
的
に 15倍となり、一
々
計
算
の
必
要
は
あ
｀ま
せ
ん。
4倍
の
場
合
は
更
に
そ
の
情
だ;マ 2の
位
置
を
移
動
す
れ
ば
よ′,し
い
の
で
す。
21
丼
ｔ
標
準
反
射
板
に
つ
い
で
:ツi以‖カー舞分:踏
締|‐
式″■
'|″
|で,ltす
る場合、|‐ え
あ萌H音
を測
つ
て平
均
し
た値
を求
め
な
‐ |す
れ
は
な|りませ
ん
で
した:し
が
し標
準
反射
板
を使
用
す
れ
ば
そ
の
よ
う
な千1
及l」 省!ナ、た
だ=度
こ
れ
を
'員
1定
す
る
こ
と||ょ
う
て簡単
に｀F均
し
た値
を求
あ
る
こ
とが||十
来ます、と言
い
ますの
|よ標
準
反
射
板|ま標
準
反射
率18%の
無
彩
色
に塗
ら
れ
て
い
る
も
の
だ
か ′)で
す、
で
す
か
ら
どん
な
状
態
の
光
線
の
場
合
て
も、と
も
かくそ
の
時
の光
線
の18%よ
|)反
身1し
て
来
ま
せ
ん
か
ら、い
つ
て
も
標準
の
値、つ
まり平
均
し
た値
が
得
ら
れ
る
と
言うこ
と
に
なりま
す。で
は
な
'18%が
標準
の値
か
と言
う
こ
と|こつ
しヽて
は後の入射光線式
の項
をお読
み
下
さ
れ
ば
ご
了解
戴
け
る
も
の
と
思
い
ま
す。 | |‐ 2'

シルェッ
反射式測定法に適した被写体
展開風ユ界
入射光線式露出メーターは、被写体からの反射光線が照射光の 18%で
あると言う考えのもとから出発している。・…・
レJえは人物などを撮る場合、反射光線式露出メーターで露出を決めるには明部とH音部
l Jlってその平均した値を求めるか、または1票準反射板を使用しなければなりませんで
|た。しかし入射光線式露出メーターではそのような手数はなく、ただ一度の入射光測
′
:で簡単に平均した値が求められます。それはこのメーターで入射光を測定するとき、
|でに取りつけられた入射アタンチメントによって直ちに中席のlLに補整された値を示
すようになっているからです。もっと解り易く説明すれば普通私達の撮影する被写体の
|え吻1率は約 5%～ 90%の間にまず大体含まれているものと考えられ、(日本化学規格0520
によれば最も反射の少ない黒の反射率は 24%、また最も反射の多い白の反射率は88%
')り
ます。)
従ってこの外のいろいろな物の反射率は例えどのような色相 (色あい)と彩度 (あざ
く'かさ)をもっていたとしてもすべてこの間に含まれているわけです。さてここで各反
嗜1率の平均をもとめれば18%～ 20%がその最も多い中庸の値となり、入射光線式露出メ
ーターはこの考えのもと、つまり被写体の反射光線は始めから18%～ 20%より反射して
水ないものであるとしてこれと|!Jし割合だけHl射光線のうちから取り入れるようにして
あるものなのです。
ですかr,被写体の反lll率が18%あるものと考えればただ一度の入射光世1定で中庸の値
が得られると言うわけなのです。この値は反lll光線式露出メーターで明暗各部を‖1って
11均を出した値とほとんど一致します。ただし極端に明るい被写体や、極端に暗い場合
は幾分補整しなければなりません。
発体
被写体の一部
黒つぱいもの自つぱいもの光

セコニツク21型を入射光線式として使用す
す場合、原則としてその受光面 (入射アタ
ッチメント)を被写体の位置から正しくカ
メラと主光源の中間の方へ向けて測定しな
ければならない ……
入射光線式とその名の示すとお |)、このメーターは被
写体に対して入つて来る光線つまり照度を測定して露li
を決めるメーターです。ですか
',そ
の測り方も被写体と
同じ位置で、被写体に当る光線をこのメーターで受けな
くてはなりません。
しかしこ′tは原則であって必ずしもいかなる場合でも
被写体のそばまで近寄ってlElらなけれはならないと言う
ことはありません。被写体とカメラの位置の光線状態が
同じなら、わさわざ被写体のそばまで近寄る必要はなく
ただ自分の位置から図のように逆の方向に受光面を向け
るだけでよろしいです。メーター受光部と被写体を同じ
ような光線状態にすると言うこと。
ただし写真の様に広く展開した風景や、遠くの山々な
どを被写体にした場合、前に中し上げたとおりの測り方
(逆方向に向ける方法 )で nlりますが、得られた露出は
%に切りつめなくてはなりません。理由は反射光線式で
風景の‖Jり方の際に中l_Lけ itたのでその項をご参照
ドさい.
半
ニロ←_＼ )
カメラ位置の光線状態と被写体位置の光線状態の
異るこき…∴・
:1(蔭 ● I′ 賜′'当 ‐:いる場所を撮景郷 1)と言うような場合、カメラ位置‐(｀ 人 ′1‐ ●|′ り〔1li芭露仕|||イ=られま11た。結果として露出過度 (:な ,てしまいます. 場||′ ―ター1被写体′'4はにもって,(か、あるいはわざ1,さ被写体のそltま _1111、フ , t lll与体とい|しまうな光線状態t~と iろまでもち出 |.て漬1
■ 1■ IⅢ `|.たな t■ `う場イト1,カメラと被写体とを結ぶ一直線の軸上11も , 1■ ,■ は ■'I=|`1「 ti方 1句 11〆 ―アーを向けて下さい。またこの反対・~l光線状 .11,It,it■ ii1 11.
|lt i:′ l'|は光線■ 人上t+i rl,1,合 il確実 11■ 写体′'そ :3,よ (・ it寄り、その位置 F i ll'II11''I11■
艘

′
入射光線式露出メーターは被写体の
状況によつて幾分補整しなければな
らない … … …
反射率の極めて低いり■つばいものを撮影しようとする場合、
また被写体のどこか或る部分のみを描写しょうとする場
合は (ただしこの一部分はやはり反射率の低いものの場合)
入射光線式露ごメーターの指示どおりては適上の露出は得ら
|しません。と言いますのはその被写体からの反射光線が5%
であるかも知れないのにこのメーターの指示では18%と計算
され、露出不足となってしまいます。ですからこのような黒
っばいものを入射光線式露lllメーターで世1定した場合、得ら
れたlLを 2倍にしなけれllなりませス。また反
'」
に反射率の
極めて高い白っぼいものを撮影する場合、このメーターの指
示どおりでは露出過度になってしまいまう。なぜなら被写体
からの反射が80%あるかも女日れな。ヽのにこ´)メーーターーの指示
では18%と計算されてしまう力'らです。ですからこのよう■
被写体の場合は得られた値を%に切りつめなければなりませ
ん。その外展開した風景や雪景色、真更の海岸などで‖1定
する場合も%に切りつめた方が良いのです。
ただし以_11のような被写体には
'え
射式‖1定法が好 |いと云
えまによう。
人物近景(街のスナンブも針む)
自つぱいもの力信
瘍
t切りつめる)
黒 ゛ ばヽヽもの '倍
入射式漬1定 1こ適した
被写体二 …
(りえ射式で標準反射板を
'llい
ても同じ)
|li l・ flした明るい所をノ｀シク
トlした人物
||:黎
|||||||||IFI
性畿
ヽ
一
澤門した風景 %信 (tJlりつめる
特にカラー撮影には適切

ゼ
ロ。ア
ジ
ャ
スト
/―
タ
ー
受
た
部
に
光
か
人|,ぬ
よう完
全
に
覆
っ
て
も、指
針
が 0の
位
置
か ',多
少
ズ
レ
る
こと
が
ありま
す。
こ
れ
は
夏
や
冬
に
於
け
る
温14の
変
化´'た
め
て
故
障
で
は
ありま
せ
ん
か
ら心
配
せ
ず、ご
自
分
で
調
整
し
て
下
さ
い。
調
整
の
し
か
た
は
受
光
面
に
光
が
少
し´も
入
ら
ぬ
よう完
仝
に
覆
っ
て
ゼ
ロ
ア
ジ
キ
ス
,トネ
ジ
を
小
さ
なドラ
イ
バ
ー
で
静
か
に
右、ま
た
は
左
に
廻
わ
し
針
を
正
しく0の
位
置
ま
で
も
っ
て
行
っ
て
下
さ
い
露
出
メ
■
夕
■
の
寿
命
に
つ
い
て
う
塗
料
鉄
珈
〓
レ
ニ
ュ
，一
ム
カ
Ｆ
ミ
ユ
ー
ス
金
の
半
透
「
膜
露
出
メ
ー
タ
ー
の
寿
命と言うことは、とりt,
直
さ
ず
そ
の′し、臓とも
言うべ
き
フ
オトセ
ル
の
キ
命
で
あ
ると言うこと力｀で
き
ると思
い
ま
す。
し
か tフ
ォトセ
ツレは
決
し
て
―年く■1年
で
駄
日
に
な
っ
て
し
まうと言うような
も
の
で
は
あ
りま
せ
ん。こ
れ
は
大
体
図
の
ような
構
造
か
ら
成り立
っ
て
い
て
こ
の
表
面
に
光
が
当りまうと
セ
レ
ニゥムとカドミウ
ムとの
間
隙
に
電
子
が
発
生
し、表
面
金
属
の
方
へと働
き
出
し
て(一 )
より(1)へと電
流
は
流
れ
出
し
ま
す、こ
の
際
こ
れ r)の
構
成
物
質
で
あ
る
鉄 (ま
た
は
ア
ルミ
ニ
ウ
ム)セ
レ
ニゥム・カドミゥム
令
等
は
何
等
の
変
化
も
なく、消
耗
す
る
ことも
ありま
せ
ん。 」度
物
を
叩くと音
が
出
ると占うのと
いIし
物
理
現
象
で
化
学
現
象
で
は
なく、フ
ォト
セ
ル
は
光
エ
ネ
ル
ギ
ー
を
電
気
エ
ネ
ル
ギ
ー
に
変
え
る
単
な
る
変
換
器
な
の
で
す。
乾
電
池
や
薔
電
池
の
ように
蓄
千Jiさ
れ
た
電
気
を
自
己
消
耗
に
よ
っ
て
放
電
す
る
も
の
て
は
あり
ま
せ
ん。従
っ
て
い
つ
ま
で
も
安
心
し
て
使 ´って
戟くこと力｀出
来
ま
す。

1.
2.
3.
4.
露出メーター保存上の注意
湿気の多いところへ長い間放置しないよ
雪]馨墨讐古97「i;[t:キ :ア :
長い問使用せずしまって置く時は、革分
カゲル (防湿剤 )と一緒に保存して下さt｀
存は避けて下さい。
|=じ
〕
t t t 株式会社早苗商会東京謝i中央IК 日本橋本石113 4 rc1121,6828～ 9
1■ i角そti: 株式会社南光商会太「々市諄il`|し畿量‖1271ただ:L′ llヽ !T・ }127}1190
|え1却)

A S A 10 16 32 50 100 200 400 800
WES 8 12 24 40 30 160 320 680
DiN 1/1。 13/:。 1° /1。 ',/1。 2:/1。 21/1。 2フ /i。 30/1。
セ
コ
ニ
ツ
ク
は
ア
フ
タ
ーサ
ー
ビ
ス
に
特
に
重
点
を
置
い
て
お
りま
す
か
ら、い
つ
ま
で
も
安
心
し
て
ご使
用
に
な
れ
ま
す。本
メ
ー
タ
ー
の
パ
ッ
ヶ
―
ジ
に
同
封
し
て
おりま
す
フ
ァ
ン
カ
ー
ドに
そ
れ
ぞ
れ
記
入
事
項
を
お
書
き
込
み
あ
上、直
ち
に
弊社
サ
ー
ビス
部
宛
お送り下
さ
い。フ
ァ
ン名
簿 (登
録
台
帳)に
貴
方
の
御
氏
名
を
記
載
の
上
早
速
登
録
通
知
書
を
お
送り申
し上
げ
こ
の
日
よりも
し―
力
年
の
間
に
メ
ー
タ
ー
が
自
然
に
具合
が悪
くなりま
し
た
ら無
料
で修
理
申
し上
げ
ま
す。た
だ
不注
意
に
よ
る
故
障
に
つ
い
て
は
実
費修
理
申
し上
げ
ま
す。 (故
障
の
場
合
は
直
接
弊
社
修
理
部
宛
お送り願
い
ま
す、到
着
日
より五
日
以
内
に
修
理
申
し上
げ、早
速
ご返
送
致
し
ま
す。)
饉颯躙